

### 第32回 燃料デブリ取り出し専門委員会 議事要旨

日時：令和2年10月22日（木） 13:00～15:00

場所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 Web 会議システム

#### 1. 東京電力におけるエンジニアリングの状況について

東京電力からエンジニアリングの状況について説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

##### 1～3号機の格納容器内部調査関連サンプル等の分析結果について

- 分析結果の代表性について、サンプルが全てを網羅している訳ではないという意識を持つ必要がある。また、分析結果についての不確かさがどの程度生じているかについて、常に意識することが重要である。
- 実態を正確に判断する為に、出来るだけ多くの分析結果を短時間で処理できるよう取り組んでいただきたい。

##### 2号機の原子炉注水停止試験結果について

- 水温や圧力挙動の評価について、多質点系モデルでの評価も検討していただきたい。また、今回の試験結果のみで挙動を説明するのではなく、過去の実験結果も含めた評価や精度の問題も含め評価していただきたい。

#### 2. 研究開発の状況について

IRID 及び NDF から、研究開発の状況について説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

- 燃料デブリ取り出しに係る研究開発については、単なる成果物をまとめるのではなく、想定外のトラブルに対処するための知識データベースとして活用できるよう取りまとめることが重要である。
- 研究開発を進める上では、前提条件や仮定及び仮説が関係各所の考えていることと整合が取れていることを確認しながら進めることが重要である。
- 研究開発中長期計画について、廃棄物プロジェクトを含め、プロジェクト相互の関係性が把握できるよう全体を俯瞰できるようにしていただきたい。

以上